

## 新しい道を切り拓いた いわての女性たち

詩を通して平和を呼び掛け続けた詩人

みや 静枝  
宮 静枝

1910年(明治43)江刺市(現・奥州市)の旧家に生まれる。幼少の頃から論語(儒教の四書五經の1つ)の素読、仕舞、琴などを習い、文化的な環境の下で成長する。スポーツも得意で、岩谷堂高女時代はテニスやバレーボールの選手として活躍。

13歳頃より、石川啄木の短歌に惹かれ創作活動を開始する。1928年(昭和3)高女卒業後、東京へ遊学した折りに、文壇人との交友を積極的に図った。「石川啄木の会」や「宮沢賢治の会」では、野村胡堂、菊池武雄ら錚々たるメンバーと出会った。

1930年(昭和5)より南条幽香のペンネームで詩を出品し始める。結婚するまでの3年間、「岩手日報」や「愛国婦人」(機関誌)などに意欲的に詩やエッセイの投稿をする。

1933年(昭和8)宮網夫と結婚。上京し渋谷区で暮らした。第二次世界大戦が始まり、1945年(昭和20)空襲に遭い原稿を焼失してしまう。この空襲を機に盛岡に戻り、創作活動を再開。

空襲による惨劇を目の当たりにした静枝は、戦争の記憶と向き合いながら抒情詩を書き始める。空襲の恐怖と悲惨さ、餓えの苦しみ。そしてヒロシマ・ナガサキの記憶の風化を憂慮し、「戦争を知らない世代にも惨劇の凶絵を直視して欲しい」と反戦詩を中心に創作活動をする。

10冊の詩集と4冊の随想集、1冊の小説を刊行している。1993年、詩集『山荘』で第33回土井晩翠賞を受賞。

『山荘』は妻を失い、戦意高揚の詩作を通し戦争へ協力した自分を責め、岩手で農村生活を送った詩人・高村光太郎の在りし日取材し綴った詩集。光太郎自身を知る上での貴重な文献でもある。

みや・こうせいさん(次男)は母 静枝についてこう語る。  
「人間が好きでたまらなく、またひどい寂しがりで、去る者は七歩ほど追ひ、来る者は多少癖があっても、逆に面白がって拒まずだった(中略)この地球からおぞましい事象の減ることのない状況を嘆いて、結果として良心の殉職者であったかもしれない」



2006年12月25日 逝去。享年96歳。

北上川河畔にある静枝の歌碑  
【参考図書】『宮静枝 詩華選集 anthologie』 2009年編集委員会

## 女性相談(本館)

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。  
相談は無料です。秘密はかたく守ります。  
相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

(第2火曜日、年末年始、祝日は休み)

## もりおか女性センター

管理・運営:特定非営利活動法人 企画プランニング・いわて

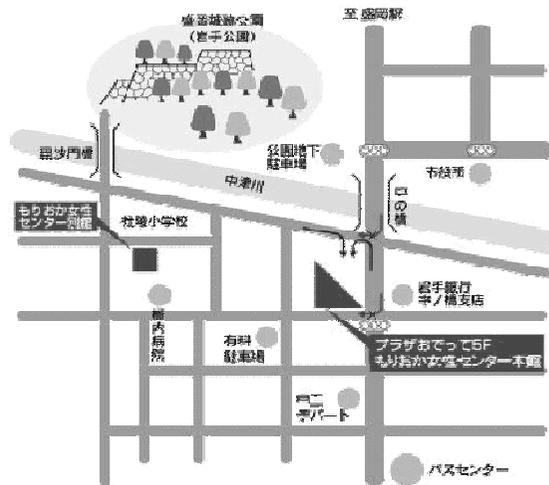
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

### 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階  
電話番号 (019)604-3303 FAX 050-2013-4750  
開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:30(土日祝17:00まで)  
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

### 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8  
電話番号 (019)624-3583(FAX兼)  
開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:00  
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



(バス) 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

### あとがき

新しい年がスタートしました。今年は卯年。女性センターも、また皆様も、ウサギが跳ねるような飛躍の年となる事を願います。

さて、湖面に川面に、白鳥が美しい姿を見せてくれる季節です。ここプラザおでって5Fからも、中津川を優雅に泳ぐ白鳥の姿が見えます。仲良く泳ぐ白鳥カプルの間に割って入るカモ。白鳥に投げたパンをキャッチするカモ。泳ぎ疲れ流されて白鳥にぶつかるカモ。美しい白鳥も好きですが、なぜかカモが愛おしい。

そんな野鳥愛好家の私書いた「シリーズ・いわての女性たち」御一読頂ければ幸いです。本年もご愛顧のほどを(S)

ひと ひと  
- 女と男、ともに参画する社会をめざして -

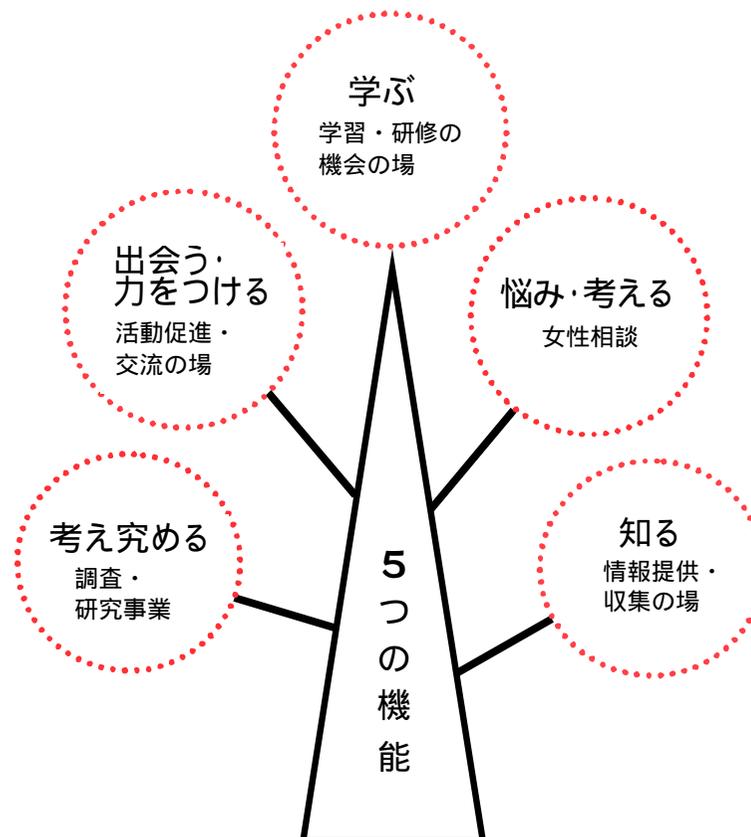
## もりおか女性センター

2011年  
1月  
No. 28

## ニュースレター

### 内容

新年ご挨拶  
トピックス  
講座情報/事業終了報告  
新しい道を切り拓いた いわての女性たち 「宮 静枝」



平成22年度事業テーマ  
『女性センターで発見する わたしのチカラ みんなのパワー』

発行: もりおか女性センター

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

2011年の年明けは大雪でしたが、どのように新年をお迎えになられたでしょうか。

毎年このことですが、新しい年を迎えると「今年はどうなるかしら」と期待と不安でいっぱいになります。

昨年末には、思いがけず「赤松良子賞」を受賞することができて身の引き締まる思いをいたしました。たくさんの方々に喜んでいただき、とてもうれしく、感激でした。今年は、その名に恥じないように様々な事業にしていねいに取り組んでまいりたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

今年度の残された時間でいくつかの事業を行いながら、次年度の計画づくりを進めます。全職員で新しいテーマづくりと事業の中身を考えます。どうぞご期待ください。

真っ白な雪景色の中を真っ白な白鳥が、「カウ、カウ」と鳴きながらかぎになって飛んでいく姿を目にします。今年はいつもの年に比べて数が少ないように感じるのですが、夏の暑さの厳しかったことが影響しているのでしょうか。春になって無事に故郷へ帰るまで楽しみながら見守ることにします。

今年もどうぞよろしく願います。

センター長 平賀 圭子

## トピックス

### 「赤松良子賞」受賞のお知らせ

このたび、もりおか女性センターの指定管理者である「特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて」が、「赤松良子賞」を受賞しました。

「赤松良子賞」とは、1997年に国際女性の地位協会創立10周年を記念して、赤松良子さんの寄託する基金により創設されました。「女性差別撤廃条約」の研究・普及を通じて、女性の地位向上に貢献した国内外の個人や団体に贈られる賞です。

11月21日に「女性と仕事の未来館」(東京)で行われた授賞式には、全国各地から多くの方がお祝いに駆けつけてくださいました。

これもひとえに皆様のご支援のお陰と心から感謝申し上げます。今後も、男女共同参画の推進を目指した事業展開をして参りますので引き続きのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

赤松良子さん:

労働省婦人少年局長時代、男女雇用機会均等法制定を中心となって推進。ウルグアイ大使、文部大臣を歴任。現(財)日本ユニセフ協会会長。



赤松良子さん(左) 平賀理事長(右) 贈呈式にて

女性差別撤廃条約:

女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃を基本理念とし、1979年に国連で採択された条約。この条約の特徴は、法令だけでなく、事実上、慣行上の差別も、条約の定める差別に含まれると規定している点。女性の権利の国際基準として画期的な意義を持つ。

## 事業の報告

### 「2010 なくそう! 女性に対する暴力」終了

内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」週間にあわせて、もりおか女性センターでは、「2010 なくそう! 女性に対する暴力」を11月12日~18日に開催しました。

今年度は、女性センターから外へ発信! ということで、期間中の4日間、市内4カ所にて街頭啓発キャンペーンを開催。キャンペーン中、約1,500人の方々が参加してくださいました。

女性センター本館会場では、デートDVパネルの展示、ビデオ上映、関連図書コーナーの設置、パープルリボンプロジェクトツリーへのご協力もいただきました。また、今年度も東北電力岩手支店のご協力をいただき、この期間中東北電力の鉄塔はパープルにライトアップされました。

ご来場いただきました皆様、街頭キャンペーンにご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。

### パープルリボンプロジェクト

~つなごう! 手と手と手! ~

街頭啓発キャンペーン(11/13~16)

DVクイズに3問答えて手袋をゲットしよう! これはDV?と思うものにをつけて...

キャンペーン会場  
・イオンモール盛岡  
・イオン盛岡南  
・ショッピングセンター  
・おでつて広場  
・肴町アーケード

あれ、これもDVなの...?

参加者にパープルの風船を配り好評でした。起業講座修了生の大沼利子さんのバルーンアートも大活躍!

社会科見学の小学生の皆さんと先生にもTシャツにパープルリボンのご協力をいただきました。暴力反対!

## 講座の案内

### 就職なう! 女子学生のための シューカツ応援塾(全3回)

「なりたい自分」を発見するための就職準備応援講座。先輩トークやドリームマップ作成など内容もりだくさんです!

日程: 2/15(火)、17(木)、18(金)10時から15時  
 会場: 女性センター本館 生活アトリエ(プラザおでつて)  
 対象: これから就職活動を始める女子学生等  
 定員: 20人  
 参加費: 無料  
 申込方法: 受講申込書に必要事項をご記入の上、Eメール、郵送・ファックスにて受付。2/4(金)必着締切。申込書は、ホームページよりダウンロード可能。女性センターでも配布します。  
 送付先: 〒020-0878 肴町2-8もりおか女性センター別館 mederunet@sankaku-npo.jp

## 起業応援ルームからのお知らせ

### 「起業応援フォーラム2010」終了!

女性の起業を応援する、年に一度の「起業応援フォーラム」も3回目。今回は「つながる、ひろがる、女性の起業」をテーマに掲げ、11月27日にもりおか女性センター別館で開催しました。盛岡市はもちろん、遠くは久慈市や、葛巻町、奥州市などから多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。

ゲストには、盛岡市黒川で「mi-cafe(ミカフェ)」を運営している松本直子さんと、埼玉県の「ヘルシーカフェのら」で子育て中のお母さんたちのつどいの場「広場」を担当している新井純子さん、盛岡市産業支援センターの関洋一さんをお迎えしました。

新井さんも松本さんも、起業するまでに、困難な出来事にぶつかりながらも、起業に対する「思い」が、多くの協力者との出会いにつながり、夢が現実として広がっていったのだなあとお二人のお話から実感。会場の皆さんが熱心に聞き入っている様子が印象的でした。

講演後には、起業講座受講生による起業活動PR・交流タイムも設けました。とっこバルーンの大沼利子さんによる華やかなバルーン装飾の中、クックハーブの藤原美子さん、やはば百笑倶楽部さん、NPO法人風・波デザインさんに販売のご協力をいただき、参加者との交流で会場が賑わっていました。

起業応援ルームでは、2011年も起業をめざす女性たちの夢やパワーに出会う場を提供していく予定です。どうぞご期待ください!

